150th Anniversary of A. N. Scriabin's birth 2022 Jun NAKAO plays the 10 Sonatas Vol. III

中尾 純 スクリャービン ピアノソナタ全曲演奏会III 最終回

モスクワ・スクリャービン国際ピアノコンクール 日本人初の第2位入賞

中尾 純 Pianist Jun NAKAO

A. N. スクリャービン：
２つのポエム 作品７１
ソナタ 第８番 作品６６
ソナタ 第９番（黒ミサ）作品６８
ソナタ 第１０番 作品７０

２４の前奏曲 作品１１

A. N. Scriabin (1872-1915):
Deux poèmes opus 71 (1914)
Sonate n°8 opus 66 (1913)
Sonate n°9 opus 68 (1913)
Sonate n°10 opus 70 (1913)

24 préludes opus 11 (1888-96)

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、同大学音楽学部器楽科ピアノ専攻を首席で卒業。同大学院修士課程修了後、ドイツに渡り2000年ハンブルク音楽演劇大学大学院修了、ドイツ演奏家資格国家試験に全３回とも最優秀の成績で合格。その後もザルツブルク・モーツァルテウムにて研鑽を積む。この間ローム・ミュージック・ファンデーション奨学生、文化庁芸術家在外研修員などに採用される。大森文子、中野洋子、池田洋子、高良芳枝、安川加壽子、植田克己、クラウス・シルデ、エフゲニー・コロリョフ、カール＝ハインツ・ケマリングの各氏に師事。第62回日本音楽コンクールピアノ部門第３位(1993)、ハンブルク・エリーゼ・マイヤー音楽コンクール優勝(1999)、モスクワ・スクリャービン国際ピアノコンクール (2000) において旧ソ連諸国以外から初の第２位に入賞。ベルリン交響楽団、ハンブルク交響楽団、ロシア国立カペレ交響楽団などと協奏曲共演、V.ポリャンスキー、F.ボーグナー、松尾葉子、飯森範親ら内外の著名な指揮者と共演している。ドイツはもとより、フランス・スイス・イタリア・ロシアなど欧州各地で多数のコンサート・音楽祭に出演、各紙の絶賛を得る。2001年にはモスクワ・スクリャービン博物館主催のコンサートに招かれ、スクリャービン愛用の楽器で演奏。パリの演奏会ではスクリャービンの孫から祝福を受ける。帰国後はスクリャービン没後90年エチュード全曲演奏会や東京藝術大学創立120周年記念プロジェクトに出演、藝大プロジェクト2010ピアノ・シリーズ（ショパン・シューマン・リスト）最終回では藝大フィルハーモニアと共演するなど、ソロ・室内楽を問わず意欲的な活動を続ける傍ら、東京藝術大学音楽学部にて後進の指導にもあたる。近年はスクリャービン没後100年記念リサイタル、ベートーヴェン後期ピアノソナタ全曲演奏会、バッハ平均律クラヴィーア第２巻全曲演奏会などを開催、好評を博す。現在、愛知県立芸術大学音楽学部准教授。

13:30開場
14:00開演

10月30日 2022年 日 東京文化会館 小ホール

Sunday, 30th October 2022, Tokyo Bunka Kaikan Recital Hall

全席自由 5000円　ユース割（30才以下）3000円

就学前のお子様の同伴・入場はご遠慮ください。楽章間を含め、演奏中の入場はできません。マスク着用、検温、手洗いなどにご協力ください。

お問合せ：モデラート音楽企画 music.moderato@gmail.com

〒110-8716 東京都台東区上野公園5-45
JR上野駅 公園口 徒歩２分
03-3828-2111

チケット取り扱い：東京文化会館チケットサービス　03-5685-0650（休館日除く）　お出かけ前に最新情報をご確認ください⇒ https://www.t-bunka.jp/